

2018年9月

「日仏間の観光協力に関する覚書署名式」を開催しました

～日仏交流 160 周年を契機とした観光交流人口の拡大に向けて～

日仏交流 160 周年を契機とし、観光庁、日本政府観光局（JNTO）及びフランス観光開発機構（Atout France）は、日仏両国において観光分野が両国国民の相互理解および友好促進において重要であるとの共通認識を踏まえ、当事者間の協力を強化することを確認し、9月19日に覚書に署名しました。

三者は既に2013年6月7日、日仏間観光協力に関する共同声明に署名しており、今回の覚書は協力のさらなる強化を確認するものとなります。覚書は3年間継続し、署名式では、2020年までに三者が観光交流の促進のために実施する予定の代表的な事業を共有しました。

2019年にラグビーワールドカップ、2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会が日本で開催されることに続き、2023年にラグビーワールドカップ、2024年にオリンピック・パラリンピック競技大会がフランスで開催されることを踏まえ、三者は両国間の観光客往來の増加に寄与すべく、各スポーツイベントを活用したプロモーション事業を互いに実施し、その経験を共有することを確認しました。

覚書に署名した各団体の代表者は次のとおり。

- * 田端 浩 観光庁長官
- * 清野 智 日本政府観光局（JNTO）理事長
- * クリスチャン・マンティイ フランス観光開発機構（Atout France）総裁



（左から）田端浩 観光庁長官、清野智 日本政府観光局理事長、クリスチャン・マンティイ フランス観光開発機構総裁